

作井 繁樹 議員 … 3件の一般質問

熊本地震では5市町の庁舎が使用不能に 役場庁舎が使用不能となることへの認識は

町長：熊本地震のような場合、使用不能になることが予想される



観光中核施設の進捗

作井 先の定例会にて討論で述べた「今後の進め方」の進捗状況、構想、役割、施設規模の整理は。

町長 それぞれの機能と役割分担の考え方は基本的に変わっていない。観光中核施設は必要な機能をコンパクトに。

作井 道有地の購入、施設の建設位置の整理は。

町長 道有地は取得ではなく、占有許可の方向。位置は駐車スペースを最大限確保するため、道道蘭越二セコ俱知安線側に。

作井 検討会、並びに議会との連携、整理作業は。

町長 3度の検討部会を開催したが、検討会に報告するまでの一定の理解、方向性を示す議論までに至っていない。

作井 関連予算の再提案時期の用途は。

町長 検討部会での熟度を上げ、検討会に報告、所管委員会に説明した中で、7月中の臨時議会で関連予算を提案したい。

作井 議会からの指摘事項の進捗率、並びに進捗率が何割程度まで上げれば再提案するのか。

町長 数字は出していないが、7月中には何とかできるのでは、というイメージ。鋭意努力する。

エリマネの環境整備

作井 エリマネマネジメントに関する調査研究の昨年度の結果、並びに今年度の進め方は。

町長 目標像をレジデンシャルリゾートに定め、課題などを改めて整理。今年度は、その整理内容をともに、行政や住民、エリマネ組織などが、それぞれの立場で取り組むべき内容を検討する。

作井 ニセコエリアの経済波及、本町の税収効果と行政コストの指標を。

町長 税収の伸び率、過去3年間での調定額比較では113%、約2億2千万円増。行政コストの数値化は難しいが、さまざまな行政課題がある。

作井 不動産取得税における税収効果の指標を。

町長 道税であり市町村は把握しておらず、道に問い合わせたが、道においても地区ごとの分析は行っていないとのこと。

作井 海外の先進地事例の功罪を学び、外資系からの投資との向き合い方を、今一度検討すべきでは。

町長 本年度、ひらふ地区におけるベッド数、駐車台数、グリーンデなどの容量を調査、望ましい空間の検討業務を実施。

作井 まずは本町行政全体の費用対効果の把握、加えて海外事例をしっかりと調査することが

必要。野放図にウエルカムではなく、どこかで規制するという考え方の整理も。

町長 今年度の調査で既存インフラでの最大値や海外事例も見えてくると思う。その上で今後どうするかの議論をしたい。

役場庁舎のあり方

作井 熊本地震発災から2カ月、一般論として災害、並びに備えへの認識は。

町長 いつ、どの場所でも起こり得る可能性がある。それを踏まえ実効性ある防災計画の策定と、実効性ある訓練の実施が災害に備える事前対策と考える。

作井 庁舎が使用不能となることへの認識は。

町長 熊本のような震度7の大地震が連続して起きた場合、使用不能になることが予測される。

作井 旧東陵中学校舎への役場移転が最も合

理的。数年間の仮庁舎とし、その間に恒久的庁舎の検討を。

町長 役場庁舎は現在地在地において検討を進めることが現実的。

作井 小学校適正配置基本計画では3校に統合、配置的には俱小廃校も選択肢。役場を移転しては。

町長 3校は実施計画の中で決定していくことに。今後の実施計画の進捗状況を踏まえ検討する。

作井 旧東陵中学校舎への移転、前町長は抵抗勢力の存在を示唆していた。抵抗勢力というものがあるとすれば、だれ。

町長 抵抗勢力よりも、町民の意見を聞くに至っていない。新築・移転いずれであれ、積み立てておかない。

何一つできていない時点では判断できない。正式に庁舎内で検討会を立ち上げ、いろいろな角度から検証する。